

健康

質問

子どものおなか膨れ、触るとしこりがあります。かかりつけ医では小児がんの疑いがあると言われました。どうすればよいですか？

小児がんの疑いどう対応



石橋 広樹さん
徳島大学病院小児外科・
小児内視鏡外科教授

回答

小児がんとは乳幼児から15歳までの子どもがかかる悪性腫瘍の総称です。小児の人口1万人に対して1人の割合で発症するといわれています。

成人のがんと異なる性質を持ち、約半分が白血病・リンパ腫などの血液腫瘍、15%が脳腫瘍です。それ以外の小児固形がんの多くは身体の深部から発生する「肉腫」、またはそれぞれの身体の場所でまだ働きが決まる前の未分化な細胞を起源とする「胎児性腫瘍」に分類されます。

このうち、腹部にしこりを来す小児がんとしては胎児性腫瘍が多く、代表的なものとして神経芽腫、ウィルムス腫瘍(腎芽腫)、肝芽腫、胚細胞腫瘍などがあります。神経芽腫は神経の細胞でできるがんで、小児がんでは3番目に発症が多いが

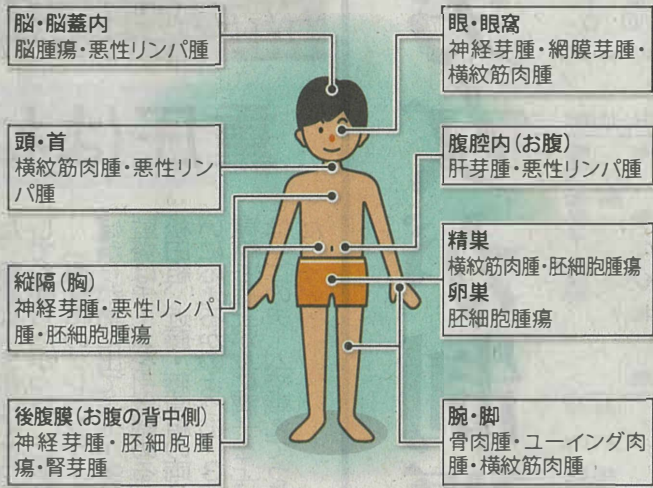
超音波やCTなど検査を



んです。

5歳以下のお子さんの発症率が高く、腎臓の上にある「副腎」という臓器にできることが多いので、おなか張ってくることであります。リンパ節や皮膚への転移がみられることがあります。ウィルムス腫瘍は腎臓にできるがんで、胎児期

小児がんの好発部位



早期の専門医受診必要

おなかの中(腹腔内)にしこりがある場合は、良性のものから悪性のもの(小児がん)までさまざまな種類の腫瘍が考えられます。できるだけ早く専門の小児科、もしくは小児外科の医師の診察を受けてください。

「集学的治療」が行われることが多いです。多くの場合、手術(外科療法)は必須であり、抗がん剤(化学療法)が良く効くことも小児がんの特徴です。他に放射線療法などを組み合わせた

がん何でもクイズ
がん検診の目的は、がんを早期発見し適切に治療することで、がんによる〇〇を減らすこと。〇〇は何ですか。
①苦痛②死亡③発病
行こうよ！がん検診

がんに関する質問は
徳島がん対策センター
電話 088 (634) 6442
(平日午前8時半から午後5時まで)
QRコード